

活動名 夢山コンサート～羽和泉 竹の楽団～	団体名	羽和泉みどりの少年団
	地域	広島県三原市
	代表者	代表 野々村 陽子
	支援金額	30万円
活動概要		
<p>地域にある竹についての学習や竹を使ったものづくりを行い、地域の自然やその活用について学ばせるとともに、竹を素材とした楽器を作り、演奏を楽しむ活動を通して、自然を守り育てることについて学ばせる。</p> <p>また、学校林「夢山」での森のコンサートを開き、豊かな自然の中でしの笛の音色を聴き、竹楽器を演奏する活動を通して、自然と一体となって音楽を楽しむ体験をさせることにより、自然に親しみ、自然を愛し、緑を守り育てる豊かな心を育てる。</p> <p>さらに、地域の方々を招待して発表の機会とし、自然の中での音楽会を通して地域の方々への感謝の気持ちを伝える。</p> <p>合わせて、シイタケ原木づくり・植樹・枝打ちなどの森づくりの活動を行い、自然を尊重する精神を養うとともに、自然豊かなふるさと久井のよさを体感させ、ふるさとを大切に思う気持ちを育てる。</p> <p>◆実施時期：平成22年3月7日(日) 10:00～13:30 三原市立羽和泉小学校 学校林「夢山」</p> <p>◆参加人数：羽和泉みどりの少年団 児童 62名／教職員 13名／保護者 61名 地域の方、他 36名／ゲストティーチャーなど 6名 参加総人員 178名</p>		



《夢山に響き渡る しの笛の音 ～石原先生による演奏～》



《しっかり根付いて大きくなあれ！～イロハモミジの植樹～》



《夢山に広がるやさしい音色 ～竹楽器の演奏1・2年生～》



《あたたかい音色を皆さんの心に届けました ～竹楽器の演奏3・4・5・6年生～》

#### ◆実施に伴う効果

・ふるさと久井の自然の豊かさを子どもたちに伝えると言う趣旨に賛同いただき、地域・保護者など多数の方々の協力を得ることができた。引き続き、学校林「夢山」を中心にした活動への理解や協力が得られ、活動をさらに継続・発展させていくための良い機会となった。

・みどりの少年団の活動に関連した他市のグループからの参加者もあり、本活動の趣旨・成果を広めることができた。

・本団体の活動を広く地域の皆さんに知っていただくとともに、自然の竹を素材とした竹楽器のよさを広めることができ、様々な場で演奏を聞かせてほしいという声をいただいた。

#### ◆苦勞した点

・野外での活動であり、地域の行事や学校の行事等との関係で予備日を設けることが難しかったため、当日の天候が最大の気がかりでした。寒い日ではありましたが、前日までの雨もあがり、予定通り学校林での活動が行えたことをたいへんうれしく思います。

・地域の催しや行事と重ならなければ、より多くの方々の参加が得られたのではないかと思います。より多くの方々に参加していただくために、様々なことを勘案しての期日の設定が難しいことだと思います。

#### ◆今後の課題・発展の方向性

- ・継続した活動としていくために、竹楽器の補修や音の調整などに係る費用の捻出が課題である。
- ・今回の活動は冬の森での活動であったが、今後、春・夏・秋などの時期に合わせて計画的に森のコンサートを開催し、四季折々の自然のなかでの音楽会を行うことで、季節の移り変わりや自然の豊かさを一層体感することができると考える。
- ・地域の方々のグループ等による合唱やしの笛演奏などを盛り込み、地域との交流の場としていくことも考えている。
- ・児童によるしの笛演奏を取り入れ、竹楽器とのアンサンブルによる演奏など、活動を広げることができる。そのためには、練習時間の確保や指導者招聘のための費用などが課題となる。

#### ◆活動を終えての感想・意見等

念願の竹の楽団の結成が実現しました。学校林「夢山」に竹楽器のやさしい音色を響かせる、保護者や地域の皆さんの前で自信を持って堂々と演奏する、竹楽器の音色と演奏する子どもたちの姿で保護者や地域の皆様に感謝の気持ちを伝えるという目的が達成できたことを何よりもうれしく思います。

冬景色の森に、竹楽器のやさしく温かい音色としの笛の澄んだ音色が響き、みんなの心に温かい灯を灯しました。この灯を絶やさないように、竹楽器の演奏をつないでいきたいと思ひます。

マツダ財団様のご支援に心より感謝申し上げます。有難うございました。